



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 丸文株式会社

コード番号 7537 URL <http://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水野 象司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 渋谷 敏弘

TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	119,373	15.9	1,174	126.7	1,173	210.9	585	—
25年3月期第2四半期	103,038	△0.6	517	△12.8	377	8.5	△106	—

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 2,258百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 166百万円 (△52.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	22.40	—
25年3月期第2四半期	△4.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	113,254		39,441		31.0
25年3月期	104,743		37,547		32.2

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 35,105百万円 25年3月期 33,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	253,000	14.9	3,500	17.0	3,350	34.0	1,675	95.3	64.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	28,051,200 株	25年3月期	28,051,200 株
26年3月期2Q	1,915,191 株	25年3月期	1,915,167 株
26年3月期2Q	26,136,014 株	25年3月期2Q	26,136,353 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国の経済は、中国の成長鈍化など海外景気の下振れリスクが懸念されるものの、政府の経済対策や金融政策の効果が現れ、輸出や生産、設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、景気回復への期待が高まりました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、デジタルカメラやTV、ゲーム機の低迷が続く一方で、スマートフォンやタブレットPCの需要拡大が継続し、車載向けや産業機器向けも回復に転じました。また半導体市場では、DRAMの価格が需要増加により上昇しましたが、半導体製造装置については、前工程装置は堅調だったものの、後工程装置は厳しい状況が続きました。

こうした状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比15.9%増の119,373百万円となりました。営業利益は、前年同期比126.7%増の1,174百万円、経常利益は、前年同期比210.9%増の1,173百万円となりました。四半期純利益は、585百万円(前年同期は106百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(デバイス事業)

デバイス事業は、デジタルカメラやゲーム機、プロジェクター向けの半導体の売上が減少した一方で、通信モジュールやPC向けの半導体が好調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比17.8%増の104,950百万円、セグメント利益は前年同期比271.7%増の1,093百万円となりました。

(システム事業)

システム事業は、科学機器の薄膜製造装置が低調で、航空宇宙機器も人工衛星用部品の売上が減少したものの、半導体非破壊検査装置の需要増や従来持分法適用会社であった関係会社の子会社化により試験計測機器の売上が増加し、レーザ機器も光通信用コンポーネントが好調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比3.4%増の14,423百万円となりましたが、セグメント利益は子会社の増加により販売費及び一般管理費が増加したため、前年同期比62.6%減の85百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は101,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,168百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が4,746百万円、現金及び預金が2,502百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は11,285百万円となり、前連結会計年度末に比べ342百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が258百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、113,254百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,510百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は55,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,520百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が6,557百万円増加したことによるものであります。固定負債は18,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が68百万円、長期借入金が34百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、73,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,616百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は39,441百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,894百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が706百万円、少数株主持分が554百万円、利益剰余金が350百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.0%(前連結会計年度末は32.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月8日に公表した業績予想を修正いたしました。

平成26年3月期の売上高は、デバイス事業では通信モジュールやPC向けの半導体の増加を、システム事業では試験計測機器や医用機器の増加を見込むため、前期比14.9%増の253,000百万円となる見通しです。利益面では、売上総利益の増加により、営業利益は前期比17.0%増の3,500百万円、経常利益は前期比34.0%増の3,350百万円となる見通しです。また当期純利益は、前期比95.3%増の1,675百万円となる見通しです。

修正した内容の詳細につきましては、本日(平成25年10月31日)別途開示しました「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,440	19,942
受取手形及び売掛金	48,299	53,046
商品及び製品	25,378	25,911
仕掛品	47	34
繰延税金資産	1,567	1,556
その他	1,097	1,503
貸倒引当金	△31	△26
流動資産合計	93,799	101,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,062	4,117
減価償却累計額	△2,666	△2,744
建物及び構築物（純額）	1,396	1,372
機械装置及び運搬具	26	27
減価償却累計額	△23	△24
機械装置及び運搬具（純額）	3	3
工具、器具及び備品	2,048	2,043
減価償却累計額	△1,643	△1,673
工具、器具及び備品（純額）	405	370
土地	2,466	2,510
リース資産	41	68
減価償却累計額	△11	△17
リース資産（純額）	29	50
建設仮勘定	0	13
有形固定資産合計	4,302	4,320
無形固定資産		
のれん	4	3
その他	401	410
無形固定資産合計	406	414
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744	2,003
長期貸付金	4	4
繰延税金資産	1,617	1,440
投資不動産	3,059	3,034
減価償却累計額	△2,048	△2,055
投資不動産（純額）	1,010	978
その他	1,857	2,123
投資その他の資産合計	6,234	6,550
固定資産合計	10,943	11,285
資産合計	104,743	113,254

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,523	40,081
短期借入金	11,687	11,988
1年内返済予定の長期借入金	34	34
1年内償還予定の社債	21	—
未払法人税等	109	266
賞与引当金	808	794
資産除去債務	12	—
その他	2,844	2,397
流動負債合計	49,042	55,562
固定負債		
長期借入金	16,037	16,072
退職給付引当金	1,461	1,529
役員退職慰労引当金	244	211
資産除去債務	111	118
その他	298	317
固定負債合計	18,153	18,249
負債合計	67,195	73,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	24,097	24,447
自己株式	△1,630	△1,630
株主資本合計	35,035	35,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	370
繰延ヘッジ損益	△656	△530
為替換算調整勘定	△826	△120
その他の包括利益累計額合計	△1,269	△279
少数株主持分	3,781	4,335
純資産合計	37,547	39,441
負債純資産合計	104,743	113,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	103,038	119,373
売上原価	95,033	110,925
売上総利益	8,005	8,448
販売費及び一般管理費	7,487	7,274
営業利益	517	1,174
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	15	17
持分法による投資利益	43	106
投資不動産賃貸料	88	78
雑収入	129	149
営業外収益合計	284	359
営業外費用		
支払利息	188	143
為替差損	83	78
雑損失	151	138
営業外費用合計	424	360
経常利益	377	1,173
特別利益		
投資不動産売却益	2	2
負ののれん発生益	—	1
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産除売却損	7	19
投資有価証券評価損	91	—
和解金	283	—
段階取得に係る差損	—	17
その他	4	0
特別損失合計	386	37
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6	1,139
法人税等	△66	374
少数株主損益調整前四半期純利益	60	764
少数株主利益	167	178
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106	585

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	60	764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	154
繰延ヘッジ損益	66	125
為替換算調整勘定	129	1,212
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	105	1,494
四半期包括利益	166	2,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57	1,574
少数株主に係る四半期包括利益	223	683

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6	1,139
減価償却費	256	200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	43	△13
賞与引当金の増減額(△は減少)	75	△27
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△261	△32
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△75	56
受取利息及び受取配当金	△22	△24
支払利息	188	143
為替差損益(△は益)	82	△153
持分法による投資損益(△は益)	△43	△106
投資不動産売却損益(△は益)	△2	△2
投資不動産賃貸料	△88	△78
投資有価証券評価損益(△は益)	91	—
固定資産除売却損益(△は益)	7	19
和解金	283	—
負ののれん発生益	—	△1
段階取得に係る差損益(△は益)	—	17
売上債権の増減額(△は増加)	13,898	△3,179
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,387	△146
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,914	5,219
その他	△238	△607
小計	8,885	2,421
利息及び配当金の受取額	36	25
利息の支払額	△198	△147
法人税等の支払額	△378	△358
法人税等の還付額	33	174
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,378	2,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△164
定期預金の払戻による収入	200	176
有形固定資産の取得による支出	△100	△92
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△38	△62
投資有価証券の取得による支出	△152	△12
投資不動産の売却による収入	10	13
投資不動産の賃貸による収入	88	78
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	46
その他	△99	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92	△94

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,917	234
長期借入金の返済による支出	△17	△48
社債の償還による支出	△24	△21
配当金の支払額	△182	△234
少数株主への配当金の支払額	△81	△129
その他	△4	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,228	△205
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75	550
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,017	2,364
現金及び現金同等物の期首残高	17,923	17,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,905	19,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	89,082	13,955	103,038	103,038	—	103,038
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	129	129	129	△129	—
計	89,082	14,085	103,168	103,168	△129	103,038
セグメント利益	294	228	522	522	△4	517

(注) 1. セグメント利益の調整額△4百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	104,950	14,423	119,373	119,373	—	119,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	7	7	7	△7	—
計	104,950	14,431	119,381	119,381	△7	119,373
セグメント利益	1,093	85	1,179	1,179	△5	1,174

(注) 1. セグメント利益の調整額△5百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。